

平成25年度理事(中山間対策・運輸担当) 予算見積総括表

一般会計

平成25年度予算見積積額	1,811,177 千円
平成24年度当初予算額	1,409,904 千円
差引増減額	401,273 千円
対前年度比率	128.5 %

(注)上記には、人件費を含まない。

平成25年度 理事（中山間対策・運輸担当）所管当初予算見積

単位：千円

○中山間対策

	H25	H24
① 中山間対策の総合的な調整	9,525	7,445
・地域振興立法5法による振興策の推進		
・中山間総合対策本部の総合的な調整		
② 集落支援	175,793	107,188
【拡充】・集落活動センター推進事業		
集落活動センターの仕組みづくりの推進		
高知ふるさと応援隊の導入支援		
③ 生活支援	321,124	232,827
【新規】・「結」プロジェクト推進事業	3,316	0
【拡充】・飲料水・生活物資の確保、移動手段の確保等	317,808	232,827
中山間地域対策課合計	506,442	347,460

○鳥獣対策

	H25	H24
① シカ被害特別対策	217,188	187,055
【新規】・集落ぐるみ捕獲推進事業	104,000	0
【新規】・シカ捕獲実験事業	10,000	44,000
【新規】・よさこいジビエプログラムセッション事業	8,071	754
・シカ被害特別対策事業	18,000	19,999
・シカ個体数調整事業	77,117	122,302
② 鳥獣被害対策の普及強化	63,785	45,104
・野生鳥獣に強い集落づくり事業	15,674	13,435
・鳥獣被害対策専門員配置事業	28,000	24,404
【拡充】・鳥獣被害対策普及啓発事業	4,407	2,201
【新規】・狩猟者新規獲得事業	8,200	0
【拡充】・狩猟技術/パワーアップ事業	2,665	1,595
【拡充】・鳥獣被害対策地域リーダー育成事業	4,500	3,227
・鳥獣被害対策連絡協議会事業	339	242
③ 鳥獣被害総合対策	325,533	148,977
・鳥獣被害防止総合対策交付金(国費)	298,086	148,977
【新規】・鳥獣被害対策市町村総合支援交付金	27,447	0
④ 野生鳥獣の保護・狩猟の適正化の推進	54,632	63,107
・シカ生息モニタリング調査		
・サル生息状況調査 ほか		
鳥獣対策課合計	661,138	444,243

○公共交通の維持確保

	H25	H24
① 公共交通維持活性化に関する検討	3,029	685
【新規】・公共交通ネットワークアドバイザー	2,690	0
・公共交通維持活性化対策ワーキング委員会	339	685
② 公共交通利用促進啓発	14,694	38,266
・公共交通利用促進啓発事業委託料	13,000	15,000
【新規】・公共交通乗換検索システム改良委託料 等	1,694	23,266
③ 地域交通対策	54,642	36,598
【新規】・ICカード機能拡充事業費補助金(ICカードですか!)	8,734	0
【拡充】・地域の交通維持支援事業費補助金 等	45,908	36,598
④ バス対策	197,995	145,969
【新規】・広報推進事業委託料(ラッピングバス)	8,527	0
【拡充】・バス運行対策費 等	189,468	145,969
⑤ 鉄道軌道対策	183,713	154,959
【拡充】・四万十市鉄道経営助成金基金負担金	100,000	66,667
【新規】・阿佐東線DMV導入事業負担金	1,500	0
・安全安心の施設整備事業 等	82,213	88,292
土佐くろしお鉄道、阿佐海岸鉄道の耐震対策ほか		
⑥ フェリー対策	19,910	19,504
・利用促進による航路維持		
・船舶法定検査に対する支援		
⑦ 航空対策	60,276	111,175
・利用促進による航空路線維持		
・高知龍馬空港着陸料に対する支援		
⑧ 運輸事業への支援等	99,796	99,796
・事業者団体の実施事業に対する支援		
⑨ 事務費	9,542	11,249
交通運輸政策課合計	643,597	618,201
理事所管合計	1,811,177	1,409,904

中山間対策の充実・強化と公共交通の維持確保・活性化

<見直し(廃止)事業>

◇集落活動センター推進事業費補助金
(一)100,000千円

・事業概要:

集落活動センターを推進するために必要な施設等の整備や人件費を含む活動費等の補助

・解決すべき課題:

集落活動センターの円滑な立ち上げ
「高知ふるさと応援隊」の導入拡大と定住

○中山間地域での集落維持対策について

・解決すべき課題:

集落活動センターの取り組みを進める推進役の拡大強化

また、集落調査の結果、今後多くの集落でコミュニティ機能の維持が困難になることが危惧されていることへの対応

拡
充

新
設

<課題解決先進事業等>

◇集落活動センター推進事業費補助金(中山間地域対策課)
(一)170,000千円(うち拡充分(一)20,000千円)

・見直し内容:

「高知ふるさと応援隊」について、集落活動センターの立ち上げ準備期間についても補助対象とする。(最長3年)

・見込まれる成果:

立ち上げ準備の段階から「高知ふるさと応援隊」の導入が促進されることにより、地域のマンパワー不足が補われ、集落活動センター設置に向けた様々な取り組みの芽出しや合意に向けた話し合いの進展が見込まれる。

また、支援期間が最長6年(開所前3年+開所後3年)になることで「高知ふるさと応援隊」の導入と定住の拡大が見込める。

【課題解決先進事業】

◆「結」プロジェクト推進事業(中山間地域対策課)

(一)3,316千円

・事業概要:

集落活動センターの自立や中山間地域の集落維持・活性化を支援するため、民間(企業・大学など)や地域間の協働を促進する。民間の力を結集して地域づくりにつなげる仕組みや地域間の共助体制づくりに向けて、まずは、集落と民間や他地域との交流活動により、親交と絆を深める取組を支援する。

・見込まれる成果:

地域に対する企業等の自発的な取組が進むことにより、集落活動センターの自立や集落の維持・活性化につながる。

行政が設ける避難所の確保などとは別に住民の交流を活かした非常時の支援の仕組みにつながる。

<見直し(廃止)事業>

【生活支援関連補助金】

◇中山間地域生活支援事業費補助金

(一)205,000千円

◇中山間地域移動手段確保支援事業費補助金

(一)12,654千円

◇地域の物流等支援事業費補助金

(一)12,570千円

・解決すべき課題:

生活支援に対する市町村のニーズの高まりと、限られた予算の中で効率的な運用

○シカ捕獲活動について

・解決すべき課題:

シカ個体数調整の強化(山岳地でのシカの捕獲活動の効率化)

○公共交通の維持確保・活性化について

・解決すべき課題:

利用者が使い勝手の良さを実感できる仕組みづくりを進めていくためには、更なるモード(鉄道、路面電車、バス等)間・事業者間の連携強化と公共交通ネットワークの改善に向けた取組が必要

統合

新設

新設

<課題解決先進事業等>

【課題解決先進事業】

◆中山間地域生活支援総合補助金(中山間地域対策課)

(一)315,000千円

・見直し内容:

生活支援関連の補助金の内容を整理したうえで、総合補助金に集約

・見込まれる成果:

総合補助金化と運用の工夫による事業効果の拡大

◇シカ捕獲実験事業(鳥獣対策課)

(一)10,000千円

・事業概要:

山岳地において従来一般的であった猟犬を使った銃猟に代わる効率の高いシカの捕獲技術の確立を目指し、新たな手法によるシカの捕獲実験を行う。

・見込まれる成果:

捕獲通報システムを活用したくりわなによるシカ捕獲など、山岳地での新たな捕獲方法の確立によるシカの食害の軽減。

◇公共交通ネットワークアドバイザー等経費(交通運輸政策課)

(一)2,690千円

◇ICカード機能拡充事業費補助金(ICカード「ですか」)(交通運輸政策課)

8,734千円 (一)2,621千円、(国)6,113千円

・事業概要:

公共交通ネットワークアドバイザーによる指導・助言及びICカード「ですか」の乗継割引の機能拡充

・見込まれる成果:

乗継対策、電車とバスの役割分担など利用者の視点に立った交通体系の構築

安全安心の施設整備事業費補助金(南海地震対策)

平成25年度当初予算
5,801千円(一)
[交通運輸政策課]

土佐くろしお鉄道

対策区分	対策箇所	H24年度	H25年度	H26年度以降
落橋対策	緊急輸送道路との交差箇所 ・第1次緊急輸送道路との交差箇所……4橋梁 ・第2次緊急輸送道路との交差箇所……3橋梁 津波避難道路との交差箇所 ・H25年度の実施予定箇所以外については調査中	第1次緊急輸送道路と交差する4橋梁の落橋対策(年度末に完了予定)	第2次緊急輸送道路と交差する3橋梁の落橋対策 津波避難道路と交差する1橋梁の落橋対策	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 関係市町村と取り決めたスケジュールを基に、耐震対策を実施 </div>
高架橋の耐震対策	調査中	耐震診断	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 耐震診断結果を基に、関係市町村と実施箇所、優先順位等について協議 </div>	
駅舎の耐震対策	中村駅	耐震診断及び詳細設計		

阿佐海岸鉄道

対策区分	対策箇所	H25年度	H26年度	H27年度以降
落橋対策	第1次緊急輸送道路との交差箇所……2橋梁 津波避難道路との交差箇所……調査中	第1次緊急輸送道路と交差する2橋梁の耐震診断及び詳細設計	第1次緊急輸送道路と交差する2橋梁の落橋対策	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 徳島県等との協議結果を基に、耐震対策を実施 </div>
高架橋の耐震対策	徳島県等と要協議		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H27年度以降の耐震対策について、徳島県等と協議 </div>	
駅舎の耐震対策	耐震対策の必要なし			

H25年度事業概要

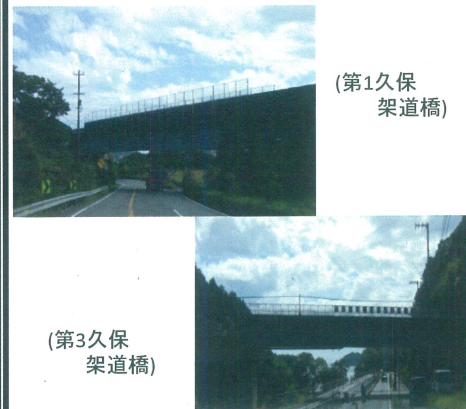
土佐くろしお鉄道 (予算額:5,334千円)



落橋対策

- 緊急輸送道路との交差箇所(中村線)
 - 対策箇所: 3橋
 - ・窪川架道橋
 - ・第8古津賀架道橋
 - ・第14古津賀架道橋
 - 事業費: 12,000千円(県負担額: 4,000千円)
(内訳) 設計費: 2,100千円
工事費: 9,900千円
 - 負担割合: 国1/3、県1/3、関係市町村1/3
- 津波避難道路との交差箇所(中村線)
 - 対策箇所: 1橋
 - ・田ノ口架道橋(黒潮町)
 - 事業費: 4,000千円(県負担額: 1,334千円)
(内訳) 設計費: 700千円
工事費: 3,300千円
 - 負担割合: 国1/3、県1/3、黒潮町1/3

阿佐海岸鉄道 (予算額:467千円)



落橋対策

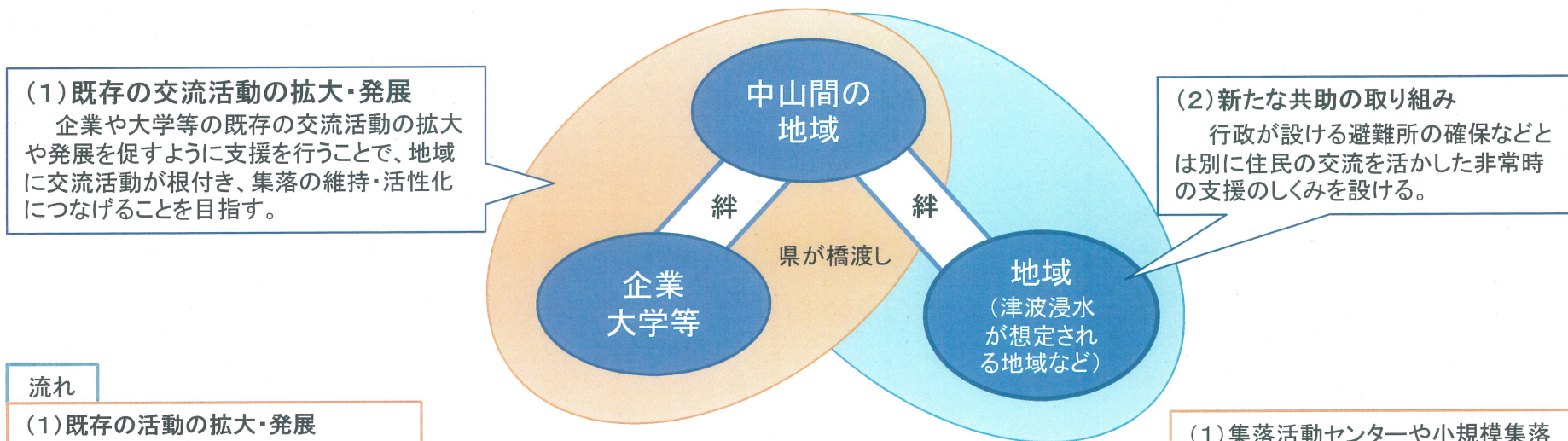
- 緊急輸送道路との交差箇所
 - 対策箇所: 2橋
 - ・第1久保架道橋
 - ・第3久保架道橋
 - 事業費: 5,500千円(県負担額: 467千円)
(内訳) 耐震診断: 3,000千円
設計費: 2,500千円
 - 負担割合
 - 耐震診断(国庫補助対象外)
 - 高知県1/10、東洋町1/10
 - 徳島県側8/10
 - 設計費
 - 国1/3、高知県1/15、東洋町1/15
 - 徳島県側8/15

新

「結」プロジェクト(案)

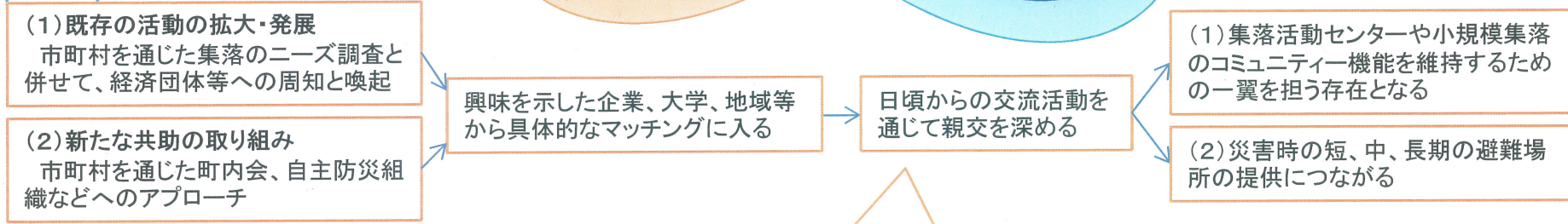
～民間や地域間の協働による支え合いの仕組みづくり～

目的 集落活動センターの自立や中山間地域の集落維持・活性化を支援するため、民間(企業、大学など)や地域間の協働を促進する。民間の力を結集して地域づくりにつなげる仕組みや地域間の共助体制づくりに向けて、まずは、集落と民間や他地域との交流活動により、親交と絆を深める取り組みを支援する。



5

流れ



<支援内容>

- ニーズ把握とマッチング
 - 市町村を通じて集落のニーズ調査
 - 経済団体、大学等の紹介
- 交流活動等に要する経費の助成
補助対象者：市町村等
補助条件：交流協定を締結した集落、団体の活動を対象
補助対象経費：ボランティア保険料、道具代、バス借上げ費等

(1)の交流活動の例

- 春に企業、大学などの1泊2日の研修
1日目：研修・親睦会 2日目：農作業お手伝い
- 秋に農産物の収穫祭として再訪

(2)の交流活動の例

- 交流イベント開催
中山間の地域でのいも掘り
- 既存のイベントに相互に参加
沿岸部の地域でのお花見に参加 など

バランスのとれた対策を普及啓発し、野生鳥獣に強い集落づくりを支援し、人材の育成や狩猟者の確保、獣肉の活用など、総合的な被害対策を推進する

防除

鳥獣被害防止総合対策交付金

◆防護柵設置への定額支援など(国費)

シカ被害特別対策事業費補助金

◆シカ用防護柵設置へのきめ細やかな支援



・効果的な設置



・適切な管理

新

鳥獣被害対策市町村総合支援交付金

◆被害防止計画に基づく市町村の総合対策を支援

・防護柵の設置、わな等の購入、捕獲報償金等に対する総合支援



環境整備

鳥獣被害対策専門員配置事業

◆総合的な鳥獣被害対策の窓口として集落を支援



鳥獣被害対策地域リーダー育成事業

◆正しい被害対策を指導できる人材の育成

拡充



野生鳥獣に強い集落づくり事業

◆重点集落を設定し地域ぐるみの対策を支援



捕獲

新

狩猟者新規獲得事業

◆銃の取得や狩猟免許の取得経費を支援し、有害捕獲の担い手確保を強化



拡充

狩猟技術パワーアップ事業

◆ワナの製作や設置方法の技術指導
◆止めさしから解体までの一貫指導



新

集落ぐるみ捕獲推進事業

◆被害集落にくくりわなを配布し、わなによる集落ぐるみでの捕獲を推進



新

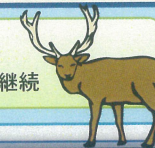
シカ捕獲実験事業

◆山岳地での自動通報システム等を活用した新たな手法によるシカ捕獲技術の実験



シカ個体数調整事業

◆狩猟期の報償金制度でシカの捕獲強化を継続



新

よさこいジビエプロモーション事業

◆ジビエ流通実態・意向調査
◆ジビエ料理コンテストなど



地域資源の有効活用

中山間地の暮らしや生活をしっかり守る

バランスのとれた総合対策の推進

成功事例を県内に波及

拡充

鳥獣被害対策普及啓発事業

◆野生鳥獣に強い集落づくり事例集の配布
◆鳥獣被害対策研修会の開催など



野生鳥獣に強い集落づくりの推進



鳥獣被害とみんなで戦う元気な集落

ICカード機能拡充事業費補助金(ICカード「ですか」)

交通運輸政策課

★バス路線再編(ハブ&スポーク方式の導入)の実現には、「ですか」の乗継割引制度(利用者の乗継の抵抗を減す)の導入は欠かせない★

<現状>

■ICカード「ですか」 運用開始:H21.1.25 発行枚数:約8万枚
全利用者に占める「ですか」利用率:6割強

■バス路線再編(24年度の取り組み状況)

- ・高知県中央地域バス路線再編協議会による路線再編案の具体化の検討
- ・高知市の中心部から様々な地域に直通で運行されている路線を見直し、乗継ポイントを設定した幹線と支線に整理する「ハブ&スポーク」の考え方を取り入れ、効率的で、わかりやすいバス路線の構築を目指している。

<課題>

現在の「ですか」のシステムでは乗継割引に対応できないため、同じ目的地に乗り換えて移動した場合、**直通便より運賃があがる**こととなる。

⇒ バス路線再編の実現に支障となる

<対策> ICカード機能拡充事業費補助金

ICカード「ですか」への乗継割引機能の付加

実施主体:株式会社ですか

補助率:2/3

事業費:13,100千円

県補助額8,734千円 事業者負担額4,366千円

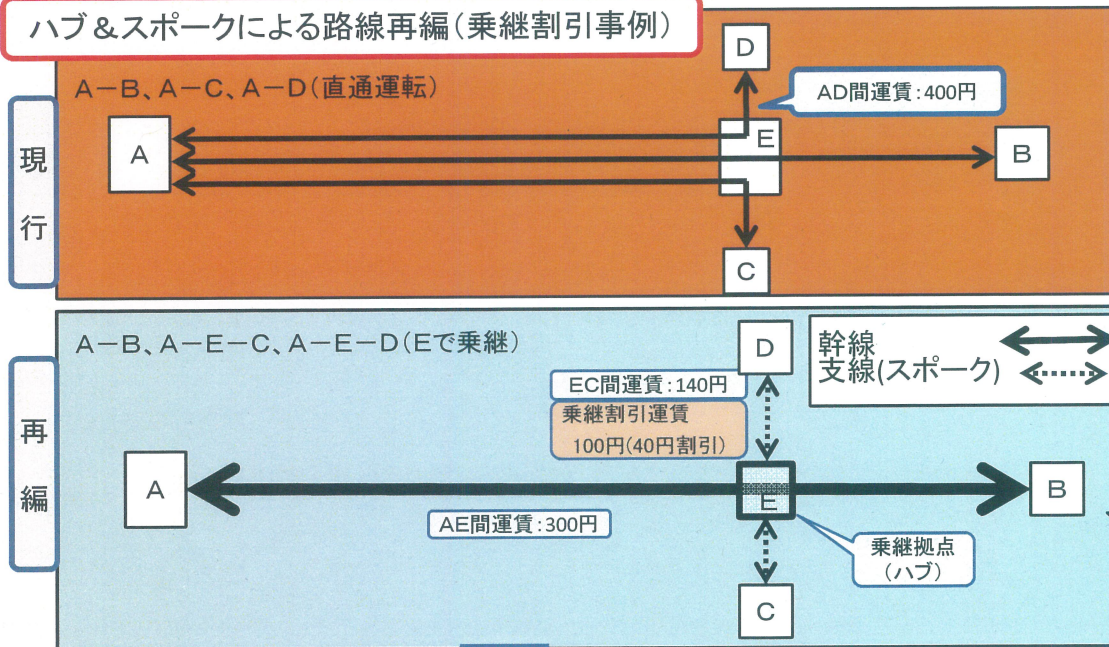
一財2,621千円

国費6,113千円(社会資本整備総合交付金)

<効果>

- ・バスを乗り継いだ場合でも利用者の負担が増えない仕組みが実現し、**バス路線再編による効率的な路線運行が可能**となる。
- ・電車とバスを乗り継ぐ場合など、**新たな割引サービスの可能性**が広がり、利用者の利便性向上が期待できる。

ハブ&スポークによる路線再編(乗継割引事例)



乗継割引機能の付加により利用者の乗継の抵抗を軽減できる

バス路線再編スケジュール

- 23年度 バス路線の現状分析等
- 24年 4月～ 路線再編案の具体化等
(広域的幹線的バス路線を中心とした見直し)
- 10月～ 一部路線の運行開始
(乗継路線のモデルケース)
- 25年 4月 路線再編案の決定
「ですか」割引運賃のシステム改良着手
- 6月 国庫補助路線に関する計画書の提出
- 10月～ 再編ダイヤによる運行開始
ですかの乗継割引システム運用開始
- 26年度以降 再編後の検証、路線見直しの継続

「幹線」: 主要路線に集約し、効率的な運行
(等間隔ダイヤ、行き先表示の統一などによる利便性向上)

「支線」: 増便による路線の充実
(幹線見直しによる削減コストを支線に配分)

バス路線再編は「ですか」の機能拡充で課題解決!